

編集後記

第七号をお届けいたします。今号には、九本の批評に加え、書評・作品紹介・エッセイ・小説が各一本ずつ、計一三本の投稿がありました。一八〇頁を超える分量もさることながら、初の特集（ただし過去に「小特集」はあり）、初の作品紹介、初の小説掲載と「初物」が多く、質・量ともに充実した号になったのではないかと思います。

ただ、質・量ともに充実した分、編集作業には従来になく時間を要しました。校正原稿を迅速に返送してくださった執筆者の皆様には感謝しております。また、書式や誤字のチェックや「初物」企画への対応を一緒に考えてくださった川口隆行氏にもこの場を借りて御礼を申し上げます。ああでもないこうでもないという電話で検討を重ねた日々は、今、純粹に楽しい思い出に変わりつつあります。本当にありがとうございます。

今号の発行と同時に、また「次」に向けて走り出したいものです。来年は、より多くの方々に会の運営に関しても機関誌の編集作業に関してもご協力をお願いすることがあると思います。その節には、どうぞよろしくお願いいいたします。

読者の皆様からのご意見、ご感想などお寄せいただけましたら幸いです。
(N)

原爆文学研究 7

二〇〇八年二月二〇日発行

編集 原爆文学研究会

八〇八五〇

福岡市中央区六本松四二一一

九州大学大学院比較社会文化研究院

波瀾剛研究室気付

発行 (有)花書院

八〇一〇三

福岡市中央区白金二一九一六

TEL 〇五(五)三六二六七

FAX 〇五(五)四四四一一

定価 一、二〇〇円(本体一、一四三円)

◇書店にない場合は「地方小出版流通センター扱い」とご指定の上、書店にご注文下さい。

◇継続購読は、花書院「原爆文学研究係」にお申し込み下さい。送料は無料となります。
